



編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話 532111 (代表) 内線40

# 収穫の秋

今年度産米の初検査が行われる



一等米に見入る農家—金木農協倉庫での初検査。

水分十五〜十六パーセント。  
整粒七五パーセント以上。

死米混入比七パーセント以下。  
一等米を得るための必要条件だ。

十月九日、水稻農家の見守る中、  
今年度産米の初検査が行われた。

食糧事務所検査官の厳しいチェックを終え、一等米となった三類米地域二年目の金木産アキヒカリ。

一等米比率が九五・二パーセントとなり収量と合わせて名実ともに大豊作となった昨年とは比較にならない今年の作況の中で、幸先の良いスタートを切った。

一年の汗の結晶が本番を迎えた調整作業で大きく左右されるといいう一等米比率は、三類米地域にも影響する。

一等米を一目見ようと集まった農家の目も真剣だ。

今年は「量より質」の米づくりが一段とクローズアップされるに違いない。

# 町村合併後十代目金木町長に

## 大橋忠勝氏



十月十日執行された任期満了(十月三十日)に伴う金木町長選挙は、即日開票の結果、元職大橋忠勝氏(五十歳)の写真が現職の古川竹夫氏(五十九歳)に四百八十三票の差をつけて当選しました。

当選した大橋氏は、昭和四十九年四月十九日から昭和五十五年一月四日まで町長を二期務め、今回、町村合併後十代目の町長として

十月三十一日から就任します。開票結果は次のとおりです。

当選	大橋 忠勝
無所属・元職	無所属・元職

次点 古川 竹夫  
無所属・現職  
四、三〇〇票

四、七八三票  
九三人。これが実際には予想以上の一日平均二百三十五人となっています。予想を十五パーセントも上回る利用の要因としては、①料金が無料②上屋付プールなので天候に左右されない③夜間(九時まで)でも利用できる④水温がほぼ一定している。などが挙げられ、八月十五日には、一日最多利用者数六百十六人を記録しました。

月別では、気温とともに比例し、学生の夏休み期間中も影響して八月の九千二十人をトップに七月五千七百六十五人、六月四千九百五十三人、九月四千五百五十七人となっています。利用者のうち、小・中・高の学生が最も多く全体の七十五パーセントにあたる一万七千九百七十人で町内の小・中学生が一人十回利用したことになります。

青少年の健全育成と体力向上をめざして建設された海洋センターも町民の最も親しみやすい施設として位置付けられ、水泳指導や救急にあたる特殊育成士を配し、各種水泳大会や親子水泳教室などの催しで来シーズンには、より以上の効果が期待されます。

## 今シーズン海洋センターに 二万三千八百人の来館

有効利用が生かされた  
海洋センター

町内唯一の上屋付プールとして今年六月芦野公園の一角にオープンしたB&G財団金木海洋センターは、九月までに二万三千七百九十五人の入館者を記録し、もっとも親しみやすい施設として位置付けました。

実効計画は、二万七百五十人で一日平均利用者が百人

町内唯一の上屋付プールとして今年六月芦野公園の一角にオープンしたB&G財団金木海洋センターは、九月までに二万三千七百九十五人の入館者を記録し、もっとも親しみやすい施設として位置付けました。



町内の強い要望とB&G財団の配慮により建設された待望のプールは、有効利用が生かされ、当初の予想をはるかに上回る入館者。六月から九月までの四か月間で町民一人平均一・七回水に親しんだことになりました。町で立案した高効率使用

伊藤忠吉さん(東京都)  
町に一千万円の寄付

福祉行政に役立てて。と東京都八王子市に住む伊藤忠吉さん(七十六歳)が、さる九月二十九日、ふるさとの町を訪れ、町に一千万円の寄付をしました。

伊藤さんは、昭和五年、二十歳まで金木町三軒町に住んでいましたが、その後上京し、現在は、八王子市で公認会計士として会計事務所に勤務しています。



古川町長に1千万円の証書を  
手渡す伊藤さん(左)

千円円の預金証書を古川竹夫町長に手渡しました。町では、このお金を基金として残し、福祉活動に役立てるよう検討しています。

# 今年度稲作は平年並

## 限度数量十三万八千八百五俵

異常低温対策本部が設置された今年の水稻は、夏場の徹底した水管理によりどうにか平年作となる様相を濃くしました。

田植えから七月までの生育期間に異常低温注意報が七回も出され「まるで草を見ていような感じだった」と言う今年の水稻も農業改良普及所や農協などの指導

で水管理を徹底し、開花期のわずかな好天にも恵まれてどうにか平年作。下北

地方の作況指数八十五（九月十五日現在）をよそにま

ずまずの出来となりました。昨年新三類米地域に格上げされた津軽半島最北の金木町は、アキヒカリが主流で九日行われた金木農協の初検査でも一等米。十日か

ら二週間遅れの初検査となりました。

今年度産の政府売渡限度数量米は昨年より五十一俵少ない十三万八千八百五俵となつていますが、今後各町村の調整で追加配分も予想されています。

水稲栽培の総仕上げと言える米の乾燥調整は、三類

米としての位置を維持する

上で最も重要となることから

適期刈り取りと過乾燥の防止並びに精米段階で調整

できるもみ混入比減など徹底した管理に目を光らせる必要があります。

また、政府売渡米の配分に直接かわりのあるやみ米取引は、違法となるだけでなく、稲作全般に影響を及ぼすことから絶対しないよう関係機関では呼び掛けています。

## 農村総合整備モデル事業

### 集落排水施設に着手

今年度から昭和六十七年度までの工期で県と町が事業主体となつて進められている「農村総合整備モデル事業」は昨年策定された実施計画に基づき、いよいよスタート。神原地区の集落排水施設整備にとりかかりました。

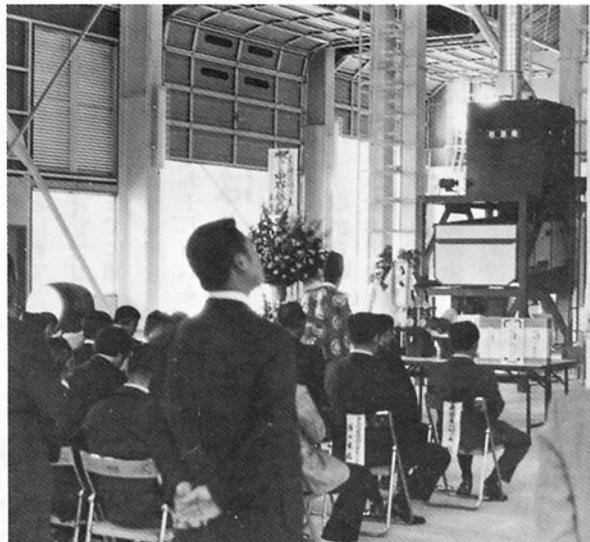
事業は、「ひばの香り高い太宰のふるさと金木」をスローガンに①健康で安心して暮らせる緑豊かなまち②働く喜びと意欲がもて活

力あふれるまち③心の豊かさ文化を創造し明るい声がこだまするまち。の三つの基本目標に沿って農村の生活環境と農業の生産基盤を総合的・一体的に整備するもので、昭和六十七年度までに十一億三千万円が投入されます。

今年度は、神原地区の集落排水施設整備四百メートルと金木川に架かる金木地区山道町の橋りょう架替設計委託が実施されます。

## 新農構事業で

### ライスセンターが完成



ライスセンターの完成を祝って行われた竣工式

嘉瀬農業協同組合が主体となつて進めている新農構事業で、構造改善事業で、ライスセンターが完成し、さる九月二十六日竣工式を行いました。

工費が約二億一、三五〇万円。昨年同じ新農構事業で完成したりんご貯蔵庫隣りにオープンしました。

完成した同センターは、鉄骨一部三階建て、毎時四トンの処理能力を持つもみ

長をはじめ関係者約六十人が出席し、神事を行い完成を祝いました。

ずり機二基のほか、十トンのもみを乾燥する六基の乾燥機を有し、延床面積が八三・六平方メートル。総

この施設の完成により、嘉瀬地区約一〇〇ヘクタールから収穫されるおよそ八六三トンのもみを調整処理することができま



14日喜良市地区での収穫作業

# 配水管布設は八十二キロメートル 町内を縦横無尽に走る

- 蛇口をひねると勢いよく出る水。
- 水道は、私たちの生活にとって欠か。
- せないものとなっています。
- 町が上水道事業を創設し給水を開。
- 始してから今年で十年を経過し施設。
- としての節目を迎えました。

# 10年を経た水道 する老朽化

昭和四十八年度から昭和五十年までの三カ年継続事業として創設された上水道は、他町村に比べ約十年程遅れ、高度経済成長時代の転換期とも重なって事業費も約十倍と言われ、完成までに約十一億六千五百万円を投入、昭和五十一年五月に竣工しました。

水源は、当時表流水などに頼る他町村には例を見ない深井戸でその掘削深度も約三百メートル。法の規制により薬品投与が義務付けられているため減菌を施し飲用に供されているもの、県下一の水質としてそのまま飲用できる水となっています。

施設は、水をくみ上げる取水施設。高台にある配水池へ送水する送水施設。配

水池から配水管を通じて家庭まで配られる配水施設に大別することができます。

金木町の場合、取水施設が送水施設とともに川倉、

金木、嘉瀬に三カ所。貯水池二基を有する配水池が川倉山、嘉瀬山に二カ所。事業費の七割近く投入される

三百ミリから五十ミリまでの口径に至る配水管の布設は、距離にして青森市を往復できる八十二キロメートルに及び町内を縦横無尽に

走っています。配水能力が一日四千三百八十立方メートル。ドラム缶にして二万一千九百本に及びます。

普及率も年々増加し、六

水道施設は、完成後約十年程で節目を迎えるとき、取水施設の深井戸や管理事務所内に設置されている中央監視盤をはじめとする機械器具の帳簿上耐用年数も十年となっています。

耐用年数で比較の長いものが配水池の六十年。事務所の五十年で建物が主流を

十一一年三月末で九五・四パーセントで、当初浅井戸に頼っていた町内の生活用水もほぼ全世帯に普及したこ

とになります。

十間の節目を迎えた現在の水道施設も取水能力の低下や機器の修繕が目立つようになり、配水管漏水修繕を含む昭和六十年修繕費が約三百万円、昭和五十九年度は、取水ポンプの取替も含め約七百万円に上っています。

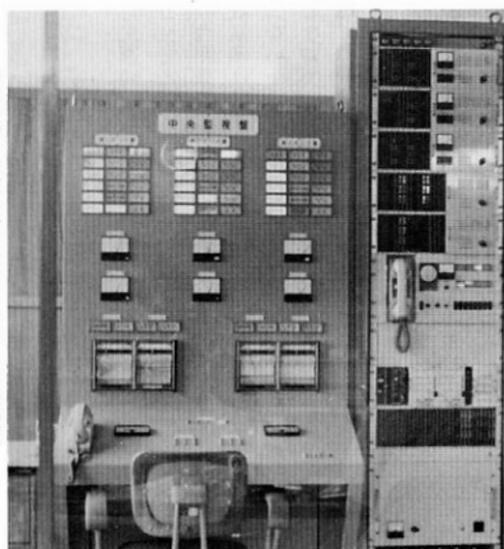
普及率九五・四パーセントの水道事業で維持管理に重点を置く現在、施設の老朽進行は深刻な問題となり、目安となる耐用年数の到来で修繕、取替を余儀なくされる年が続いています。

十年の歳月は、取水され配水池から送られる年間約九十七万立方メートルの貴重な水を、実際私たちが生活用水として使用し、料金の対象となる有取水量五十九万立方メートルに縮め、残り三十八万立方メートルのうち約二十万立方メートルを防火水やプールなどの公共施設に、およそ十八万

十方減価償却の累計額に

なっています。

## 節目を迎えた水道事業



水道管理事務所内にある中央監視盤

## 漏水量は年間十八万立方メートル

十年の歳月は、取水され配水池から送られる年間約九十七万立方メートルの貴重な水を、実際私たちが生活用水として使用し、料金の対象となる有取水量五十九万立方メートルに縮め、残り三十八万立方メートルのうち約二十万立方メートルを防火水やプールなどの公共施設に、およそ十八万

十方減価償却の累計額に

なっています。

十年間の節目を迎えた現在の水道施設も取水能力の低下や機器の修繕が目立つようになり、配水管漏水修繕を含む昭和六十年修繕費が約三百万円、昭和五十九年度は、取水ポンプの取替も含め約七百万円に上っています。

普及率九五・四パーセントの水道事業で維持管理に重点を置く現在、施設の老朽進行は深刻な問題となり、目安となる耐用年数の到来で修繕、取替を余儀なくされる年が続いています。

十方減価償却の累計額に

なっています。

十年間の節目を迎えた現在の水道施設も取水能力の低下や機器の修繕が目立つようになり、配水管漏水修繕を含む昭和六十年修繕費が約三百万円、昭和五十九年度は、取水ポンプの取替も含め約七百万円に上っています。

普及率九五・四パーセントの水道事業で維持管理に重点を置く現在、施設の老朽進行は深刻な問題となり、目安となる耐用年数の到来で修繕、取替を余儀なくされる年が続いています。

# 事業開始から

## 深刻化

配水管の漏水修繕作業



ないような小さな穴からでも高い水圧により周りの砂を巻き込み回転させ管をだんだん削り取って漏水量を多くしていきます。  
水が路上などに流出してはじめて発見できる漏水はどここの事業体でもその対策に追われている現状にあります。

### 水道料金は施設使用料

水道料金は施設使用料とも言われ、拡張工事がある料金にはね返り、施設総額の違いからこの町村でも異なります。  
全国で一番高い基本料金

### 10年間の推移

	普及率	有収水量	有収率
51年度	55.8%	228,220m <sup>3</sup>	83.3%
52年度	60.1%	278,400m <sup>3</sup>	83.4%
53年度	68.4%	382,800m <sup>3</sup>	82.3%
54年度	80.33%	446,787m <sup>3</sup>	86.96%
55年度	83.48%	446,796m <sup>3</sup>	86.95%
56年度	85.78%	468,198m <sup>3</sup>	87.09%
57年度	88.61%	497,900m <sup>3</sup>	85.03%
58年度	90.65%	537,521m <sup>3</sup>	86.96%
59年度	93.56%	582,521m <sup>3</sup>	58.41%
60年度	95.46%	588,529m <sup>3</sup>	60.34%

### 単年度では

### 黒字経営続く

この十年間の経営状況は、普及率とともに安定し、昭和五十三年度から単年度黒字の連続。給水原価も昭和六十年で初めて三百円台を割り一立方メートルあたり二百八十八円となり、供給単価に近づいています。  
しかし、当初の赤字額が今だに尾を引き累積欠損金として約六千三百万をかかえています。  
創設事業費の大半が国か

ら企業借入で支払利息を含め年間約一億一千万円の返済。少しずつ減額されながらも昭和八十二年で、残り約二十年で一掃されるに至りました。  
昭和五十一年度の事業開始から十一年目を迎えた今年、水道事業は維持管理における中間地点を迎え、修繕を含んだ施設の総点検時が到来し、累積赤字の解消とともに深刻化しています。

## クッキング

①

魚の嫌いな子供にも好評な、タラのクリーム煮。これからの季節、体の暖まる土岐さんの自慢料理です。

▽材料 (5人分)  
甘塩タラ……………五百グラム  
ほうれん草……………百グラム  
人参……………百グラム



「たら」のクリーム煮  
嘉瀬後町 土岐 和子さん  
TEL 52-5274

片栗粉……………大さじ三  
▽作り方  
①たらに片栗粉をまぶしてゆでます。ほうれん草もさつとゆでます。人参をせん切りにしてゆで、乱切りにした玉ねぎといっしょにバターで炒め、水気をおさえるため小麦粉を振ってからませます。②鍋にバターを

玉ねぎ……………二百グラム  
バター……………大さじ三  
小麦粉……………大さじ五  
牛乳……………二百cc  
塩……………少々  
コショウ……………少々  
片栗粉……………大さじ三  
玉ねぎ……………大さじ三  
小麦粉……………大さじ五  
牛乳……………二百cc  
塩……………少々  
コショウ……………少々  
片栗粉……………大さじ三

③ホワイトソースにたら、ほうれん草、人参、玉ねぎを入れて温める程度に火をとおして出来上りです。

### ▽コツと応用

ホワイトソースの代わりにシチューの素を牛乳で溶いて混ぜ合わせたものを使ってもおいしいです。

# 流氷の町からよこいそ

## 興部(オコッペ)高校生が町で体験学習



体験学習でこぎん刺しをする女子高生

太宰のふるさとを一目見よう。とさる十月七日北海道の高校生百十一人が修学旅行で金木町を訪れ、こぎん刺しと凧絵作りの体験学習をしました。

訪れたのは、「流水の町」で知られる北海道紋別郡興部(オコッペ)町の興部高等学校(斉藤勝雄校長)生徒三百二十人、二年生の男子五十人、女子六十人の生徒で、これまで京都、奈良

町を訪れたものです。

この日県観光物産館アスパムを見学したあと、太宰のふるさとを訪れた一行は、「太宰ふるさと会」の款待を受け、川倉養の河原でイタコの口寄せを開き芦野公園で昼食。ふるさと会が準備した豚汁と焼肉に「おかわり」の連続で旅行中の弁当とは違った心のこもったもてなしを受けました。

方面の旅行を続けていたものの今年には拝観停止などの規制があったため、五泊六日の日程で平泉中尊寺八百年祭などを主体とした東北文学の旅に切り替え、金木

このあと、男子が中央公民館で凧絵、女子が自然休養村管理センターでこぎん刺しの体験学習をし、「こぎん刺しはとでもきれいな成したら皆んなに見せあげたい」と慣れない手付きでこぎん糸を刺し、思い出た。の1ページを作っていました。

### 「あいさつ運動」

—金木町教育委員会—

- 朝おきたら家族で……………「おはよう」
- 道で出あった人にも……………「おはよう」
- 学校で、職場で……………「おはよう」

# の秋 体育大会

開会式でちょっと緊張



10月12日、金木中学校グラウンドを主会場に第8回金木町総合体育大会が開催され町民約500人がスポーツの秋を満喫しました。競技は、陸上、ソフトボール、バレーボール、卓球、ゲートボールの5種目で、お弁当持参の家族連れなどで賑い、名プレー珍プレーに盛んな拍手が送られていました。



スマッシュ決まり!!



お母さん今がんばってるんだー。



お呼び出します。



スパイク・ブロック、ボールは?



これボールだナァー。

# ハトムギで健康を

利尿、健胃薬として効果がある「ハトムギ」を「健康茶にして愛用しよう。」と喜良市地区のお年寄りが栽培に取り組み、さる十月一日刈り取りが行われました。



この「ハトムギ」栽培は、喜良市地区のお年寄りを対象にした県の農村高齢者役割割向上対策事業で実施しているもので、病害虫の被害が少なく手間もそれほどかからないことから今春、金木農業改良普及所の指導で岩見町など三カ所の畑十アールに作付されていたものです。

これまで、同地区のお年寄り三十人が種まきから定植、草とりなどすべて手掛けてきただけに刈り取りともなると喜びもひとしおで、黒い実をたくさん結び背丈が一メートルほどに伸びたハトムギ一株一株がていねいに刈り取られました。

ハトムギは、自然食ブームを反映して最近話題を呼んでいます。同地区のお年寄りは、健康茶として愛用するほか、粉末にしてお菓子などの材料にも利用することになっています。

## フレッシュギャル



若松町 津島 華子さん 21才 A型しし座

現在勤務している仕事は、司法書士・土地家屋調査士の補助者。と、名前は華々しいんですが、内容は不動産の売買や抵当関係の代書人で不動産

登記等の申請書作りが主です。3年6ヶ月経ちますけど、奥が深いいまだに勉強の毎日です。その為言うまでもなく失敗談もあ

れこれ。その代わり一般の人では縁のない物事に接触出来ず。

休日は洗濯や買物、お料理は駄目ですが、時にはお菓子を作ったり。旅行が好きで暇とお金が出れば、ちよくちよく出かけています。もちろん一人で。この次の計画は長崎あたりかな？

夢は自分にぴったりの男性と巡り逢い暖かい家庭をいとなむことです。

# スポーツ

## 第8回 町総合



スプリンターになるゾ



宣誓わたしたちは



抗議?



ちょっと一寒いじゃナイ



テントの中は暖いゾ



もうちょっと右じゃないの

# 金木病院カルテ<sup>13</sup>

心臓とめまい  
内科 丹野 恒明



めまいを訴え、我々の外

来を訪れる人は多いが、メニエール病、脳血管障害、自律神経失調症、強度の肩こり、脳腫瘍等々、関連する科は耳鼻科、内科、眼科、脳外科、産婦人科、精神科等、かなり多くの科が関与して行く。我々は患者さんとの話や、身体所見から、めまいの性質を判断し、治療していくのであるが、重篤とが多い。正常な心拍数は

## あなたの善意

○美晴町の大橋源次郎さん（七十五歳）が火葬場に掛け軸を寄贈してくれました。  
○米町の秋元伸仁君（中一）が小学一年生から貯金した一円玉千三百十六円を町社会福祉協議会に寄付してくれました。

ありがとうございます

平均1分間に60-80回であるが、心臓の刺激発生や伝導障害のため心拍数が1分間に40以下になってくると、心拍出量（心臓が血液を送り出す量）が減少し、そのため日常生活が活発にできなくなり、疲れ易くなってくる。更に心拍数が減少したり、或は5秒以上も心停止がおきたりすると脳への血液循環が不十分になったり、或は停止したりして、めまいや失神等の発作（Adams Stokes 発作）をおこし、更には死の危険が迫ってくる。

このように心拍数の病的な減少による種々な血液循

環不全の症状が出てきた場合行う治療法の一つとして人工ペースメーカーがあり、一時的に体外から行うものと、皮下に植え込み恒久的に行うものがある。これは、心臓の筋肉に弱い人工的電気刺激を与えることにより心臓を収縮させ、心拍数を生理的に保とうとする治療法で、これにより血液循環不全は改善されめまい、失神等の症状も軽快することになる。

## おめでとう

最近、疲れ易くなった。時にめまいがし、ひどい時には意識がなくなるといった症状のある場合、自分の手首や心臓に指をあて、脈をまず触れてみて下さい。乱れていたり、1分間に40以下だったりした時はなるべく早く診察を受けるようにしましょう。

- 黒滝 治（俊治） 時田
- 藤元 洋輔（昭逸） 金木
- 今 絵里加（君弘） 嘉瀬
- 工藤 和紀（秀光） 藤枝
- 原田 公平（政彦） 金木
- 高松 恵（洋一） 金木
- 今 貴司（忠弘） 喜良市
- 荒関 辰巳（昇） 金木

## 戸籍の窓

九月届出

### 人口と世帯

	9月30日現在	前年同月比
男	6,738人	- 93
女	7,307人	- 59
計	14,045人	-152
世帯数	3,921世帯	21

## おしあわせに

- （小田）桐春美（清衛門） 金木
- （今）ひとみ（満晴） 喜良市
- （松橋）隆三（育雄） 金木
- （田中）典子（良治） 金木
- （関村）祐功（一己） 金木
- （岩村）良子（久二） 嘉瀬
- （杉林）憲一（勝義） 金木
- （宮崎）明子（貢） 喜良市
- （齋藤）浩二（一實） 嘉瀬
- （齋藤）之子（昭） 鶴田町
- （高松）紀代（芳勝） 金木
- （毛内）満（英文） 嘉瀬
- （越田）透（實） 平館村
- （齋藤）千賀子（一男） 嘉瀬
- （田中）雅仁（健一） 中里町
- （古川）美智子（水雄） 喜良市
- （鳴海）春光（兼春） 嘉瀬
- （赤石）真理子（金之） 中里町

## おくやみ

- （今）シデ（76） 喜良市
- （黒滝）粕太郎（75） 嘉瀬
- （工藤）チヨ（81） 嘉瀬
- （成田）勇蔵（81） 中柏木
- （土岐）キナ（84） 嘉瀬
- （松江）一雄（77） 金木
- （原田）カヨ（83） 中柏木
- （鳴海）イサ（88） 嘉瀬
- （三浦）禪雄（77） 喜良市
- （内海）精蔵（76） 嘉瀬
- （對馬）マル（86） 金木

## はじめまして

お名 治 ちゃん

8月26日生まれ  
体重 3,450グラム  
母 田

黒滝俊治さんの三男